

工 事 番 号							
設計年度	令和 4 年度	三原東処理分区污水管新設工事（4-3工区）		仕様書			
施工月日	令和 年 月 日	公共下水道事業					
施工方法	請 負	三原市東町二丁目		<b>仕 様 書</b>			
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 路線延長（污水単独） L=43.0m</li> <li>管体延長（開削）φ150 L=42.1m</li> <li>小口径マンホールφ300 N=3箇所</li> <li>付帯工 一式</li> <li>給水管移設工 一式</li> </ul>							

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市東町二丁目 公共下水道事業 三原東処理分区污水管新設工事（4-3 工区）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・土木工事共通仕様書 令和4年8月 広島版  
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
  - ・下水道土木工事必携(案) 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
  - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
  - ・その他関連規格類

### 第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

### 第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

### 第4節 検査

土木工事共通仕様書（令和4年8月広島版）『第3編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

### 第5節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

## 第2章 施工条件

### 第1節 工 程

#### 1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物（水道管，ガス管，などの埋設物あり）
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は，監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）
移設時期	必要に応じて，別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として，提出するものとする。また，提出部数については監督員の指示によるものとする。

### 第2節 用 地

- 1 借 地 あらかじめ近隣住民に借地する目的，作業内容を充分説明し，同意を得て借地すること。

### 第3節 公害対策

#### 1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合，監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容	柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況
範 囲	別途協議による。

### 第4節 安全対策

#### 1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は，開削工事2（人／日）を見込んでいる。

### 第5節 工事用道路

#### 1 一般道路

搬入経路	特に指定しない。
使用期間	工事施工期間
使用時間	8時30分～17時
工事中・後の処置	随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

## 第6節 建設副産物

### 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

### 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において 300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

## 第7節 仮設工

湧水等により，見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は，任意仮設についても設計変更することができる。

ただし，変更しようとする者は，見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに，適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し，監督員と協議すること。

## 第8節 工事支障物件

### 1 地下・地上支障物

支障物件名	水道管，ガス管
管理者	三原市水道部，広島ガス㈱
位置	協議による
移設時期	協議による

## 第9節 管内テレビカメラ調査

管内テレビカメラ調査については，下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成25年6月社団法人日本下水道協会）を準拠し実

施すること。

#### 第10節 その他

##### 1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

### 第3章 設計金額

#### 第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和4年8月広島版）『第1編 1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

### 第4章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

### 第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- (1) 原因調査 監督員と協力して行なうものとする。
- (2) 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当るものとする。
- (3) 応急処置 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。
- (4) 補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。

#### 第6節 施工合理化調査等

当該工事において受注者は、施工合理化調査等の対象なった場合、資料作成等に協力しなければならない。

## 第7章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。  
また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
管路施設(開削工法)		式		1	レベル1
管きよ工(開削)		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
管布設工		式		1	レベル3
硬質塩化ビニル管	呼び径 150mm	m		42.1	レベル4
継手類		箇所		3	レベル4
埋設標識テープ		m		42.1	レベル4
管基礎工		式		1	レベル3
砂基礎	【砂材料】	m		42.1	レベル4
マンホール工		式		1	レベル2
小型マンホール工		式		1	レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)		箇所		3	レベル4
取付管およびます工		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
ます設置工		式		1	レベル3
ます(塩化ビニル製)		箇所		2	レベル4
取付管布設工		式		1	レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)		式		1	レベル4
付帯工		式		1	レベル2
舗装撤去工		式		1	レベル3
舗装版切断		m		6	レベル4
舗装版破砕(小規模)		m <sup>2</sup>		6	レベル4
殻運搬処理		m <sup>3</sup>		1	レベル4
舗装復旧工		式		1	レベル3
不陸整正		m <sup>2</sup>		6	レベル4
上層路盤(歩道部)		m <sup>2</sup>		8	レベル4
コンクリート舗装		m <sup>2</sup>		6	レベル4
管きよ工(水道)		式		1	レベル2
共同管給水管布設工		式		1	レベル3

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
給水管材料		式		1	レベル4
給水引込工事		式		1	レベル4
宅地内給水接続工事		式		1	レベル4
土工		式		1	レベル4
給水管布設工		式		1	レベル3
給水管材料		式		1	レベル4
給水引込工事		式		1	レベル4
宅地内給水接続工事		式		1	レベル4
土工		式		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
仮設工		式		1	レベル3
交通誘導員		人		8	レベル4
**直接工事費**					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
共通仮設費率分					
**共通仮設費計**					

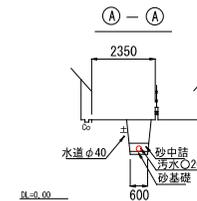


汚水平面図 S=1:500



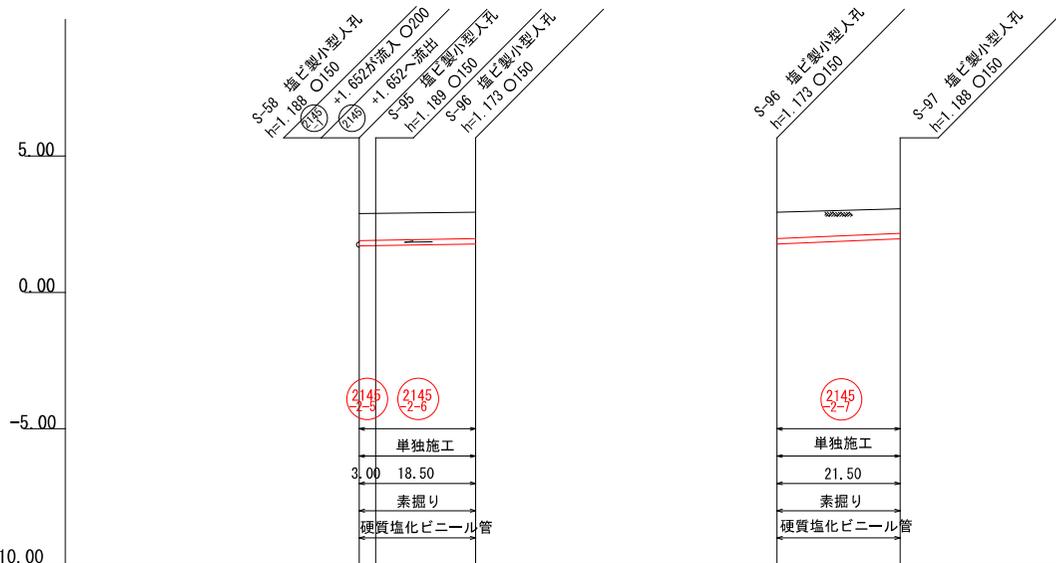
汚水縦断面図 V=1:100  
H=1:500

横断面図 S=1:100



凡例

—	汚水実施
- - -	雨水既設
- - - -	汚水既設
- - - -	雨水計画
- - - -	汚水計画
+	雨水同一施工
++	汚水同一施工
●	汚水樹取付
○	雨水樹取付
●	外副管設置
●	内副管設置
○	水道管
○	ガス管
○	N T T 地下ケーブル
○	中電地下ケーブル



DL=-10.00

管径	MM	φ150	φ150	φ150
勾配	%	3.0	3.0	5.0
距離	M	3.00	18.50	21.50
地盤高		2.89	2.90	2.94
土被		1.03	1.03	1.02
管底高		1.702	1.711	1.767
掘削深		1.29	1.29	1.28
追加距離		0.00	3.00	0.00
区間距離		3.00	21.50	43.00

施工位置図 S=1/5000



管番号	マンホール番号	管種・管径	延長	工法
2145-2-5	S58~S95	VUφ150	3.00	開削・単独
2145-2-6	S95~S96	VUφ150	18.50	開削・単独
2145-2-7	S96~S97	VUφ150	21.50	開削・単独
計			43.00	

令和4年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)

工事名	三原東処理区分区汚水管新設工事(4-3区)
工事場所	三原市 東町二丁目
施工管番号	2145-2-5, 2145-2-6, 2145-2-7
図面番号	1/1 縮尺 図示
平面図・縦断面図	
三原市	

# — 参 考 資 料 —

令和 4 年度

三原東処理分区污水管新設工事(4-3工区)

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-05.02.01(0)		≪凡例≫ Co・・・コンクリート      As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック      BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン      TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	31 下水道工事(2) 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 03 補正しない		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(開削工法)					Y1I01 レベル1
	1	式			
管きよ工(開削)					Y1I0101 レベル2
	1	式			
管路土工					Y1I010101 レベル3
	1	式			
管路掘削					Y1I01010101 レベル4
	1	式			
機械掘削工(小型バックホウ)					SG1D0001001 00
	40	m3			単第0 -0001 表
管路埋戻					Y1I01010102 レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(小型バックホウ)					SG1D0002002 00
	30	m3			単第0 -0003 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)					SG1D0002002 00
	6	m3			単第0 -0005 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理	1	式			Y1I01010103 レベル4
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)	7	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費	7	m3			F0001 00
管布設工	1	式			Y1I010102 レベル3
硬質塩化ビニル管 呼び径 150mm	42.1	m			Y1I01010203 レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 150mm	42.1	m			SG1D0006001 00 単第0 -0008 表
継手類	3	箇所			Y1I01010212 レベル4
本管自在継手 φ 300- φ 150	3	個			F0002 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋設標識テープ	42.1	m			Y1I01010216 レベル4
埋設標識シート 150×50 2倍	42.1	m			F0003 00
管基礎工	1	式			Y1I010103 レベル3
砂基礎 【砂材料】	42.1	m			Y1I01010301 レベル4
砂基礎工(機械施工)	3	m3			SG1D0019002 00
再生砂	4	m3			単第0 -0009 表 TTPC00011 00
マンホール工	1	式			Y1I0102 レベル2
小型マンホール工	1	式			Y1I010203 レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)	3	箇所			Y1I01020301 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
小型マンホール工 (塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 深さ2m以下 本管径150mm~200mm	3	箇所			SG1D0057001 00  単第0 -0010 表
小口径鉄蓋 (テザン入・密閉ロック式) φ300用 T-14	3	組			F0004 00
沈下防止盤 (再生プラスチック) φ300用 T-14	3	組			F0005 00
沈下防止盤 (コンクリート) φ300用 T-14	3	組			F0006 00
取付管およびます工	1	式			Y1I0104 レベル2
管路土工	1	式			Y1I010401 レベル3
管路掘削	1	式			Y1I01040101 レベル4
機械掘削工 (小型バックホウ)	1	式			SG1D0001001 00
管路埋戻	1	m3			単第0 -0001 表
	1	式			Y1I01040102 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	1	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0003 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	1	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0005 表
発生土処理	1	式			Y1I01040103レベル4
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)	1	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費	1	m3			F0001 00
ます設置工	1	式			Y1I010402 レベル3
ます(塩化ビニル製)	2	箇所			Y1I01040202レベル4
ます設置工(塩化ビニル製) ます径 200mm	2	箇所			SG1D0088004 00 単第0 -0011 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管布設工	1	式			Y1I010403 レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)	1	式			Y1I01040302 レベル4
取付管布設および支管取付工 管径 150mm	2	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0012 表
付帯工	1	式			Y1I0106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I010601 レベル3
舗装版切断	6	m			Y1I01060101 レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	6	m			SPK22040303 00 単第0 -0013 表
舗装版破碎(小規模)	6	m2			Y1I01060103 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	6	m2			SPK22040018 00 単第0 -0014 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬処理	1	m3			Y1I01060105 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	1	m3			SPK22040142 00 単第0 -0015 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費(Co殻)	2	m3			F0008 00
舗装復旧工	1	式			Y1I010603 レベル3
不陸整正	6	m2			Y1I01060301 レベル4
不陸整正 補足材料無し	6	m2			SPK22040225 00 単第0 -0016 表
上層路盤(歩道部)	8	m2			Y1I01060305 レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RM-30	8	m2			SPK22040229 00 単第0 -0017 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート舗装	6	m2			Y1I01060310 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	6	m3			SPK22040144 00 単第0 -0018 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1.3	m2			SPK22040146 00 単第0 -0019 表
管きよ工(水道)	1	式			Y1I0103 レベル2
共同管給水管布設工	1	式			Y1I010301 レベル3
給水管材料	1	式			Y1I01030101 レベル4
サドル分水栓(ボール式)塩ビ管用(フィルム 40×20	1	個			F0010 00
Pワン分・止水栓用 20	1	個			F0011 00
Pワンエルボ 20	7	個			F0012 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
Pワンおねじ付ソケット 20	3	個			F0013 00
Pワンチーズ 20	2	個			F0014 00
内ネジボール甲型止水栓 蝶L 20	3	個			F0015 00
止水栓ボックス 三原市型	3	個			F0016 00
給水引込工事	1	式			Y1I01030102レベル4
ポリエチレン管水道用二層管1種 20	24	m			F0017 00
雑材料・消耗品	1	式			F0023 00
穿孔工	1	箇所			F0024 00
ポリエチレン管据付工 φ20	24	m			F0025 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管継手工 φ20	13	口			F0026 00
給水管用埋設標識シート W=150 2倍	21.4	m			F0018 00
止水栓取付 φ20	3	箇所			F0027 00
止水栓BOX取付	3	箇所			F0028 00
耐圧試験費	1	式			F0029 00
宅地内給水接続工事	1	式			Y1I01030103レベル4
既設管接続費 HI-VP	3	箇所			F0030 00
土工	1	式			Y1I01030104レベル4
バックホウ掘削積込 地山 BH=0.07m3	6.5	m3			F0031 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ埋め戻し(購入土) BH=0.07m <sup>3</sup> ・人力併用	6.5	m <sup>3</sup>			F0032 00
給水管布設工	1	式			Y1I010301 レベル3
給水管材料	1	式			Y1I01030101 レベル4
サドル分水栓(ボール式) 鋳鉄管用(フィル 40×20	1	個			F0020 00
Pワン分・止水栓用 20	1	個			F0011 00
Pワンエルボ 20	3	個			F0012 00
Pワンおねじ付ソケット 20	1	個			F0013 00
内ネジボール甲型止水栓 蝶L 20	1	個			F0021 00
止水栓ボックス 三原市型	1	個			F0022 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
給水引込工事					Y1I01030102レベル4
	1	式			
ポリエチレン管水道用二層管1種 20					F0017 00
	2.5	m			
雑材料・消耗品					F0033 00
	1	式			
穿孔工					F0024 00
	1	箇所			
ポリエチレン管据付工 φ20					F0025 00
	2.5	m			
ポリエチレン管継手工 φ20					F0026 00
	5	口			
給水管用埋設標識シート W=150 2倍					F0018 00
	2.1	m			
止水栓取付 φ20					F0027 00
	1	箇所			
止水栓BOX取付					F0028 00
	1	箇所			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
耐圧試験費	1	式			F0029 00
宅地内給水接続工事	1	式			Y1I01030103 レベル4
既設管接続費 HI-VP	1	箇所			F0030 00
土工	1	式			Y1I01030104 レベル4
バックホウ掘削積込 地山 BH=0.07m3	1	m3			F0031 00
バックホウ埋め戻し(購入土) BH=0.07m3・人力併用	1	m3			F0032 00
仮設工	1	式			Y1I0205 レベル2
仮設工	1	式			Y1I010601 レベル3
交通誘導員	8	人			Y1I01060101 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B	8	人			R0369 00
**直接工事費** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
管路調査工 洗浄・カメラ調査・報告書含む	42.1	m			V0100 00
共通仮設費率分					単第0 -0020 表 Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
**共通仮設費計**					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
**純工事費**					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
**工事原価**					
一般管理费率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額** 計算情報…… 対象額…… 率……					
**工事費計**					





# 施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)

SG1D0002002

単第0 -0003 表

頁0 -0019

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.538	日			単第0-0002 表 100/65
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.13m3			B=6 材料別途		

# 施工単価表

頁0 -0020

タンパ締固め

SPK22040021

単第0 -0004 表

機械構成比: 1.36% 労務構成比: 97.27% 材料構成比: 1.37% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,428.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.36%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.37%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

# 施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)

SG1D0002002

単第0 -0005 表

頁0 -0021

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.538	日			単第0-0002 表 100/65
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.13m3 D=126.3 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			B=2 再生砂		



# 施工単価表

ダンプトラック運転

SM2203010

単第0 -0007 表

011 オンロード ディーゼル

2t積級

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	22.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1      011_オンロード ディーゼル C=1      運転労務数量(人/日) E=1.29   機械損料数量(供用日/日)			B=1      2t積級 D=22     燃料消費量(L/日) F=1      路面状況:良好		











# 施工単価表

頁0 -0029

舗装版切断

SPK22040303

単第0 -0013 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 5.01%

労務構成比:

44.29%

材料構成比: 50.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,074.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	3.39%		コンクリートカッター バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	15.33%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	6.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	48.42%		コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.54%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009





# 施工単価表

頁0 -0032

殻運搬 SPK22040142 単第0 -0015 表  
 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超) 1 m3 当り  
 機械構成比: 43.25% 労務構成比: 42.18% 材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,155.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		

# 施工単価表

頁0 -0033

不陸整正

SPK22040225

単第0 -0016 表

補足材料無し

1

m2 当り

機械構成比: 25.46%

労務構成比: 67.79%

材料構成比: 6.75%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

113.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	12.56%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	9.73%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.17%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
運転手(特殊)	42.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.06%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	6.75%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001



# 施工単価表

頁0 -0035

上層路盤(歩道部)

SPK22040229

単第0 -0017 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RM-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.59%

労務構成比:

65.31%

材料構成比:

29.10%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

790.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.89%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.54%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	27.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	23.22%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整砕石 30~0mm	27.32%		再生粒度調整砕石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

上層路盤(歩道部)

SPK22040229

単第0 -0017 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RM-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.59%

労務構成比:

65.31%

材料構成比:

29.10%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

790.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=1 RM-30		
<b>【路盤材単価】</b> 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0037

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0018 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.44%

労務構成比:

37.63%

材料構成比: 57.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28,884.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.19%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.11%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.32%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.83%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

型枠 SPK22040146 単第0 -0019 表  
 一般型枠 鉄筋・無筋構造物 1 m2 当り  
 機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 8,707.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	47.44%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	24.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		













# 施工単価表

報告書作成工

V0310

単第0 -0026 表

頁0 -0046

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量主任技師 (外業) 管理技師	1.0	人			
測量技師 (外業) 管路調査技師	1.0	人			
測量技師補 (外業) 管路調査助手	1.0	人			
DVD	1	枚			
写真代	1	式			
雑材料	10	%			#01
1m当り		m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# — 数量総括表 —

令和4年度

三原東処理分区污水管新設工事(4-3工区)

# 数量集計表

# 塩ビ管管布設工集計表

補単

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4				
管路土工	管路掘削 人力							m <sup>3</sup>	
	管路埋戻(発生土) 人力							m <sup>3</sup>	
	管路埋戻(砂) 人力							m <sup>3</sup>	
	発生土処理 人力 2 t車							m <sup>3</sup>	
	管路掘削 BH 0.13 m <sup>3</sup>	40.4					40.4	m <sup>3</sup>	40
	管路埋戻(発生土) BH 0.13 m <sup>3</sup>	30.4					30.4	m <sup>3</sup>	30
	管路埋戻(砂) BH 0.13 m <sup>3</sup>	6.3					6.3	m <sup>3</sup>	6
	発生土処理 BH 0.13 m <sup>3</sup> 2 t車	6.6					6.6	m <sup>3</sup>	7
	管路掘削 BH 0.28 m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	
	管路埋戻(発生土) BH 0.28 m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	
	管路埋戻(砂) BH 0.28 m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	
	発生土処理 BH 0.28 m <sup>3</sup> 4 t車							m <sup>3</sup>	
	管路掘削 BH 0.45 m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	
	管路埋戻(発生土) BH 0.45 m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	
	管路埋戻(砂) BH 0.45 m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	
	発生土処理 BH 0.45 m <sup>3</sup> 10 t車							m <sup>3</sup>	
管基礎工	砂基礎	2.6					2.6	m <sup>3</sup>	3
	砂基礎延長	42.1					42.1	m	42.1
管布設工	路線延長	43.0					43.0	m	43.0
	管体延長	42.1					42.1	m	42.1
	ゴム輪受け口片受直管 φ 150 mm×4.00m	9					9	本	9
	プレーンエンド直管 φ 150 mm×4.00m	2					2	本	2
	可とう継手 φ 150 mm							個	
	自在継手 φ 150 mm	3					3	個	3
	副管用マンホール継手 φ 150 mm×1.00m							個	
	上流用マンホール継手 φ 150 mm×0.50m							個	
内副管用T字継手 φ 150 mm×1.00m							個		

塩ビ管管布設工(No.1)

補・単

管径 φ =	150	mm	道路幅員 =		m	復旧表層厚 =		m	
現況表層厚 =		m	(上下路盤)	掘削幅 =	0.60	m	復旧路盤厚 =		m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。			管延長 m	ゴム輪受け直管 (SRA) m	プレート直管 直管 (PE) m	マンホール 継手 個	自在継手 個	備考 (平均掘削幅)
					掘削土量								
					人 力 m <sup>3</sup>	BH 0.13m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	BH 0.28m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>						
2145-2-5	S-58 S-95	3.00	0.15 0.15	1.30 1.30		2.8		2.70		2.60		1	0.73
2145-2-6	S-95 S-96	18.50	0.15 0.15	1.29 1.29		17.4		18.20	16.0	2.10		1	0.73
2145-2-7	S-96 S-97	21.50	0.15 0.15	1.29 1.29		20.2		21.20	20.0	1.10		1	0.73
計		43.00				40.4		42.10	36.0	5.79		3	

本管	プレート直管	5.785	÷	4.00	m/本=	2	本
	ゴム輪受け直管	36.0	÷	4.00	m/本=	9	本

土 工	掘 削	人力掘削工	人 力	m <sup>3</sup>	合計	発生土埋戻	30.4	砂埋戻	6.3	残 土	6.6	
		機械掘削工	バックホウ	0.13 m <sup>3</sup>								40.4
		機械掘削工	バックホウ	0.28 m <sup>3</sup>								
		機械掘削工	バックホウ	0.45 m <sup>3</sup>								40.4
埋 戻	発生土	V= 40.4 - ( 0.365 × 0.64 ) × 0.86					30.4	平均掘削深 1.29				
								砂埋戻基礎工	上幅	0.62		
									砂埋戻	下幅	0.60	
		V= { (0.265 × 0.65) 0.785 × 0.165 <sup>2</sup> } × 42.10 = 6.3						砂埋戻		上幅	0.67	
V= 0.61 × 0.10 × 42.10 = 2.6					砂基礎工	下幅	0.62					
残土		V= 40.4 - ( 30.4 ÷ 0.9 ) = 6.6					管廻り埋戻高= 0.265 管 外 径 = 0.165 砂 埋 戻 高 = 0.365 砂 基 礎 高 = 0.10					

塩ビ製小型マンホール工集計表

補・単

名称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
		No.1						
跨鉄製防護蓋	φ 428 mm T-14	3				3	組	3
台座(沈下防止板)	φ 620 mm	3				3	組	3
塩ビ製内蓋	φ 300 mm	3				3	個	3
ドロップ用	90° 曲管 φ 200 mm						個	
	段差調整管 φ 100 mm × 4.00 m						m	
立管	ドロップ φ 300 mm × 4.00 m						m	
	一般 φ 300 mm × 4.00 m	2.360				2.36	m	2.36
						1	本	1
塩ビ製小型マンホール	KDR φ 300 mm						個	
	DR φ 300 mm						個	
	90° Y φ 300 mm						個	
	90WY φ 300 mm						個	
	WLS φ 300 mm						個	
	45° Y φ 300 mm						個	
	90° φ 300 mm	1				1	個	1
	60° φ 300 mm						個	
	45° φ 300 mm						個	
	30° φ 300 mm						個	
	15° φ 300 mm	1				1	個	1
	ST φ 300 mm						個	
	KT φ 300 mm	1				1	個	1
	異径ソケット φ 200 × φ 150						個	
削孔	VU 100 mm						箇所	
	VU 150 mm						箇所	
	VU 200 mm						箇所	

塩ビ製小型マンホール設置工 No.1

補・単

路線名	人孔番号	人孔深	流出管			流入管			異径ソケット	防護蓋	台座	内蓋	DR用φ200		立管φ300		塩ビ製小型マンホール																			
			管種	管径	管底高	管種	管径	管底高					調整管	90°曲管	一般	DR用	φ - 300																			
																	m	m	m	m	m	m	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
2145-2-5	S-95	1.189	VU	200	1.711	VU	200	1.767		1	1	1			0.784			1																		
2145-2-6	S-96	1.173	VU	200	1.767	VU	200	1.872		1	1	1			0.768										1											
2145-2-7	S-97	1.188	VU	150	1.872	VU	150			1	1	1			0.808		1																			
計							削孔	VU100 VU150 VU200	200×150		3	3	3			2.360		1		1						1										

取付管工集計表

補・単

名称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No.1	No.2						
取付管工	取付管箇所	2					2	箇所	2
	取付管延長	3.00					3.00	m	3.00
	平均取付管延長						1.50	m	1.50
	ブレンエンド直管 φ150×4.00m	2.27					2.27	m	2.27
							1	本	1
	90° 可とう支管 φ150	2					2	個	2
	60° 曲管 φ150 mm	2					2	個	2
	30° 曲管 φ150 mm							個	
	SRB片受直管 φ150×0.80m	2					2	個	2
	塩ビ製人孔用支管 φ150×300mm							個	
	可とうマンホール継手 φ150							個	
	自在管 φ150	2					2	個	2
	本管接続	2					2	箇所	2
	マンホール接続							箇所	
	塩ビ製マンホール接続							箇所	
土工	人力掘削							m <sup>3</sup>	
	機械掘削 BH 0.28 m <sup>3</sup>	1.3					1.3	m <sup>3</sup>	1
	発生土埋戻し 人力							m <sup>3</sup>	
	“ BH 0.28 m <sup>3</sup>	1					1	m <sup>3</sup>	1
	砂埋戻し・砂基礎 人力							m <sup>3</sup>	
	“ BH 0.28 m <sup>3</sup>	0.3					0.3	m <sup>3</sup>	1
	残土処分 BH 0.28 m <sup>3</sup> 4t車	0.2					0.2	m <sup>3</sup>	1
ます設置工	塩ビ製柵 φ 200 mm 1.5 m以下	2					2	箇所	2
	铸铁製防護蓋 φ 200 mm用							箇所	
	塩ビ製密閉蓋 φ 200 mm用	2					2	箇所	2

取付管工

補単

(現況舗装構成)

舗装表層 = 0.05 m  
 上層路盤 = 0.10 m  
 下層路盤 = 0.11 m

道路幅員 = [ ] ~ [ ] m  
 本管掘削幅 = [ ] m  
 取付管掘削 = 0.6 m

(復旧舗装構成)

舗装表層厚 = 0.05 m  
 上層路盤厚 = 0.10 m  
 下層路盤厚 = 0.10 m  
 φ 150 mm

路線名	数量	取付管延長		本管土被	掘削深	掘削幅	掘削延長	掘削土量	本管接続	人孔接続	塩ビ人孔接続	塩ビ人孔用支管	可とう支管		PE直管	S	R	樹設置工	铸铁製防護蓋	塩ビ製密閉蓋		
		箇所	箇所×延長										小計	m							m	m
2145-2-5	右 1	1	1.50	1.50	0.96	0.88 0.83	0.68	1.50- (0.36 × 1) =	1.14	0.6	1			1	1	1.14	1	1			1	
2145-2-6	右 1	1	1.50	1.50	1.08	0.94 0.89	0.69	1.50- (0.37 × 1) =	1.13	0.7	1			1	1	1.13	1	1			1	
	左																					
	右																					
	左																					
	右																					
	左																					
	右																					
	左																					
	右																					
	左																					
	右																					
	左																					
	右																					
	左																					
	右																					
	左																					
計	2		3.00						2.27	1.3	箇所2	箇所	箇所	ケ2	ケ2	ケ2	m2.27	ケ2	箇所2	箇所	2	
配管延長							m	3.00													m	2.27
							ブレーション直管												m	2.27		
掘削	人力						m <sup>3</sup>	発生土埋戻	1.3-(0.575×0.25×2.27)												m <sup>3</sup>	1.0
	BH0.28m <sup>3</sup>						m <sup>3</sup>	砂・砂基礎埋戻	(0.575×0.25-0.15 <sup>2</sup> ×2×0.785)×2.27												m <sup>3</sup>	0.3
残土		1.3-(1.0÷0.9)					m <sup>3</sup>	0.2	自在管φ150												個	2

# 付 帯 工 集 計 表

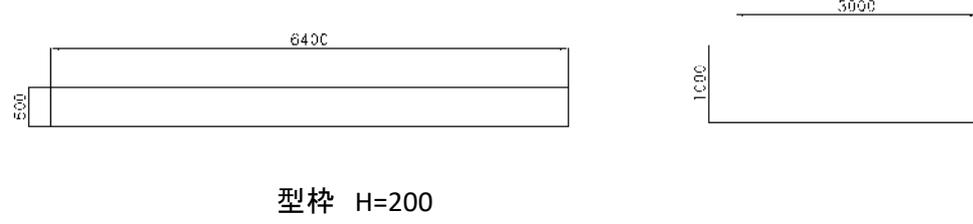
補 単

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4				
アスファルト切断工	t=15cmまで							m	
舗装撤去工	(As)							m <sup>2</sup>	
舗装殻処分工	(As)							m <sup>3</sup>	
仮舗装工	As t=3cm							m <sup>2</sup>	
仮舗装撤去								m <sup>2</sup>	
仮舗装殻処分工								m <sup>3</sup>	
本舗装復旧工(全面幅)	密粒度As t=5cm							m <sup>2</sup>	
上層路盤工	粒調碎石 t=12cm							m <sup>2</sup>	
下層路盤工	再生切込碎石 t=10cm							m <sup>2</sup>	
不陸整正								m <sup>2</sup>	
セメントコンクリート切断工		6.2					6.2	m	6
舗装撤去工	(Co)	6.2					6.2	m <sup>2</sup>	6
舗装殻処分工	(Co)	0.4					0.4	m <sup>3</sup>	1
舗装復旧工		6.2					6.2	m <sup>2</sup>	6
路盤工	再生切込碎石 t=10cm	8.1					8.1	m <sup>3</sup>	8
不陸整正		6.2					6.2	m <sup>2</sup>	6
型 枠		1.3					1.3	m <sup>2</sup>	1.3

塩ビ管管布設付帯工(No.3)

補単

現況表層厚 =  $\frac{0.07}{0.10}$ m      道路幅員 =  $\frac{1}{0.60}$ m      復旧表層厚 =  $\frac{0.07}{0.20}$ m  
 現況路盤厚 =  $\frac{0.07}{0.10}$ m      掘削幅 =  $\frac{1}{0.60}$ m      復旧路盤厚 =  $\frac{0.07}{0.20}$ m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工 (セメントコンクリート)		路盤工		表層工	
				t= 7 cm	m	t= 10 cm A=掘削幅×延長	m <sup>2</sup>	t= 7 cm A=復旧幅×延長	m <sup>2</sup>
2145-2-7	S-95	6.40	1.29	6.40×0.50	3.20	0.86×6.40=	5.5	6.40×0.50	3.2
	S-96								
2145-2-7	S-95	3.00	1.29	3.00×1.00	3.00	0.86×3.00=	2.58	3.00×1.00	3.0
	S-96								
 <p>型枠 H=200</p>									
	計	9.40			6.2		8.08		6.2

セメントコンクリート切断工	6.2 m
舗装撤去工	6.2 m <sup>2</sup>
舗装殻処分工 t= 7 cm=	6.2 × 0.07 = 0.4 m <sup>3</sup>
仮舗装工	m <sup>2</sup>
仮舗装撤去	m <sup>2</sup>
仮舗装殻処分工 t= 3 cm=	× = m <sup>3</sup>
舗装復旧工	m <sup>2</sup>
型枠 t= 20 cm	6.4 × 0.2 + 1 × 0.2 = 1.3 m <sup>2</sup>
路盤工 t= 14 cm 再生切込砕石	8.1 m <sup>2</sup>
不陸整正	6.2 m <sup>2</sup>





# — 参 考 図 —

令和 4 年度

三原東処理分区污水管新設工事(4-3工区)

# 位置図

